

「世界農業遺産」に関するアンケート結果

滋賀県では、琵琶湖の伝統漁業である「エリ漁」や湖魚が琵琶湖からやってきて産卵・繁殖する「魚のゆりかご水田」、琵琶湖の環境や生きものを守り日本一の取組面積を誇る「環境こだわり農業」や水源林保全など、滋賀の風土と歴史の中で生み出されてきた「琵琶湖と共生する農林水産業」を、世界に誇るべき「琵琶湖システム」として発信しています。

また、こうした農林水産業の営みや環境に配慮した取組を国内外へPRしていくため、地域の皆さんと共に、平成31年度の「世界農業遺産」認定に向けた取組を進めています。

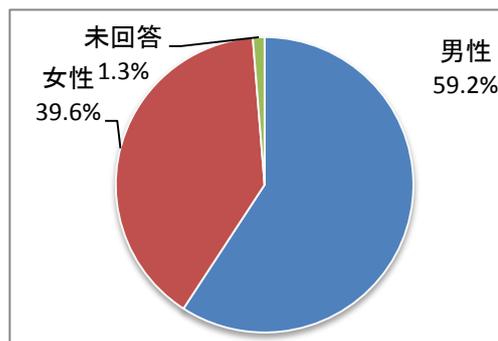
そこで、滋賀が目指す「世界農業遺産」について、今後の推進を図るための参考として、アンケートを実施いたしました。

- ★調査時期：平成31年2月
- ★対象者：県政モニター395人
- ★回答数：316人（回答率 80.0%）
- ★担当課：農政水産部農政課

【属性】

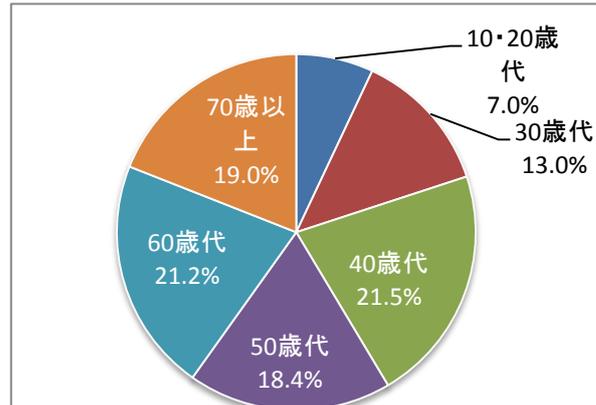
◆性別

項目	人数(人)	割合
男性	187	59.2%
女性	125	39.6%
未回答	4	1.3%
合計	316	100%



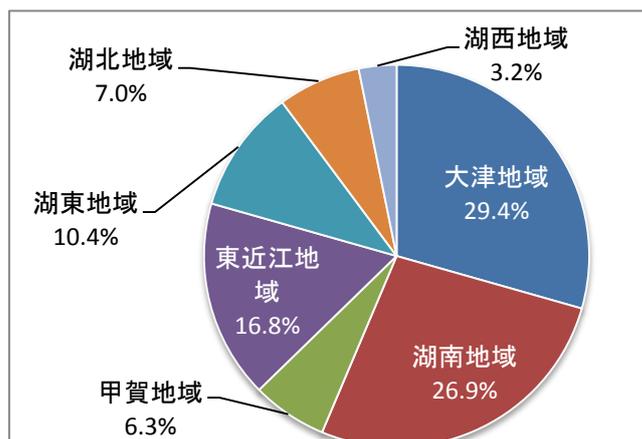
◆年代

項目	人数(人)	割合
10・20歳代	22	7.0%
30歳代	41	13.0%
40歳代	68	21.5%
50歳代	58	18.4%
60歳代	67	21.2%
70歳以上	60	19.0%
合計	316	100%



◆地域

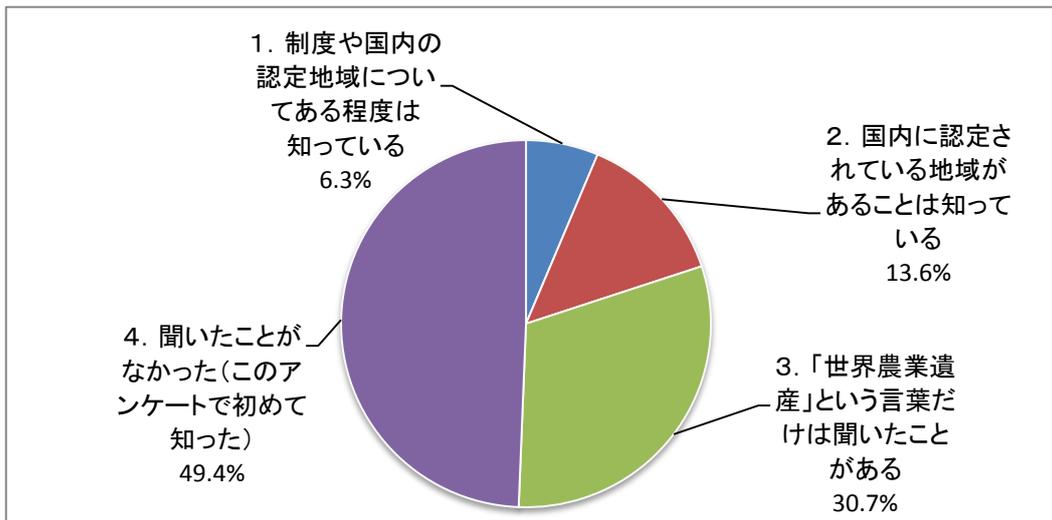
項目	人数(人)	割合
大津地域	93	29.4%
湖南地域	85	26.9%
甲賀地域	20	6.3%
東近江地域	53	16.8%
湖東地域	33	10.4%
湖北地域	22	7.0%
湖西地域	10	3.2%
合計	316	100%



問1 「世界農業遺産」は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり形作られてきた伝統的な農林水産業と、それに関わって育まれてきた文化・景観・生物多様性などが一体となったシステムを、国連食糧農業機関が認定する制度です。

この「世界農業遺産」の制度について知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=316)

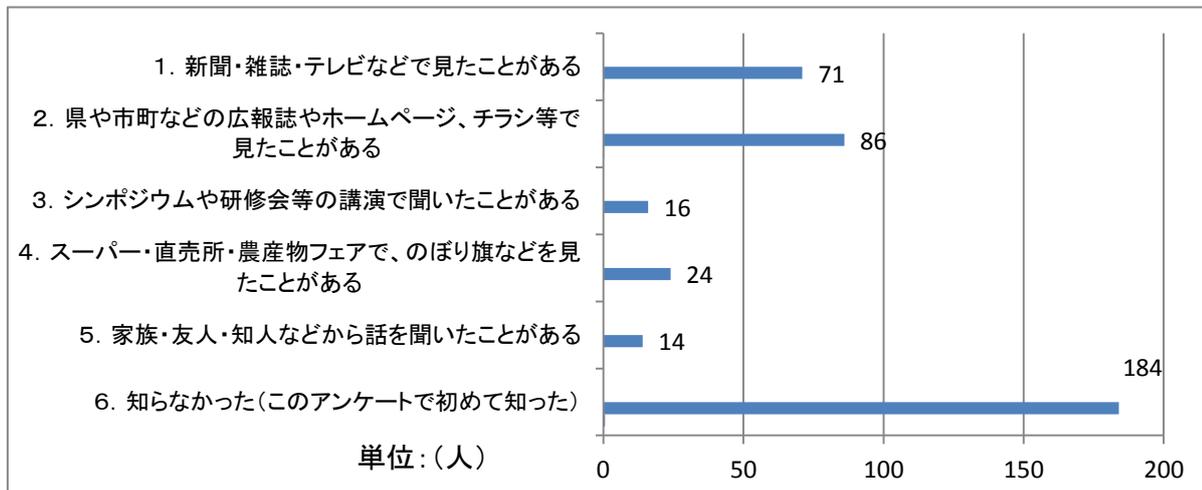
選択肢	人数(人)	割合
1. 制度や国内の認定地域についてある程度は知っている	20	6.3%
2. 国内に認定されている地域があることは知っている	43	13.6%
3. 「世界農業遺産」という言葉だけは聞いたことがある	97	30.7%
4. 聞いたことがなかった(このアンケートで初めて知った)	156	49.4%
合計	316	100%



問2 滋賀県が目指している「世界農業遺産」においては、伝統的な琵琶湖漁業、「魚のゆりかご水田」、「ふなずし」などの食文化を中心に、環境こだわり農業や水源林の保全活動を含む環境にやさしい農林水産業について世界に発信していきたいと考えています。

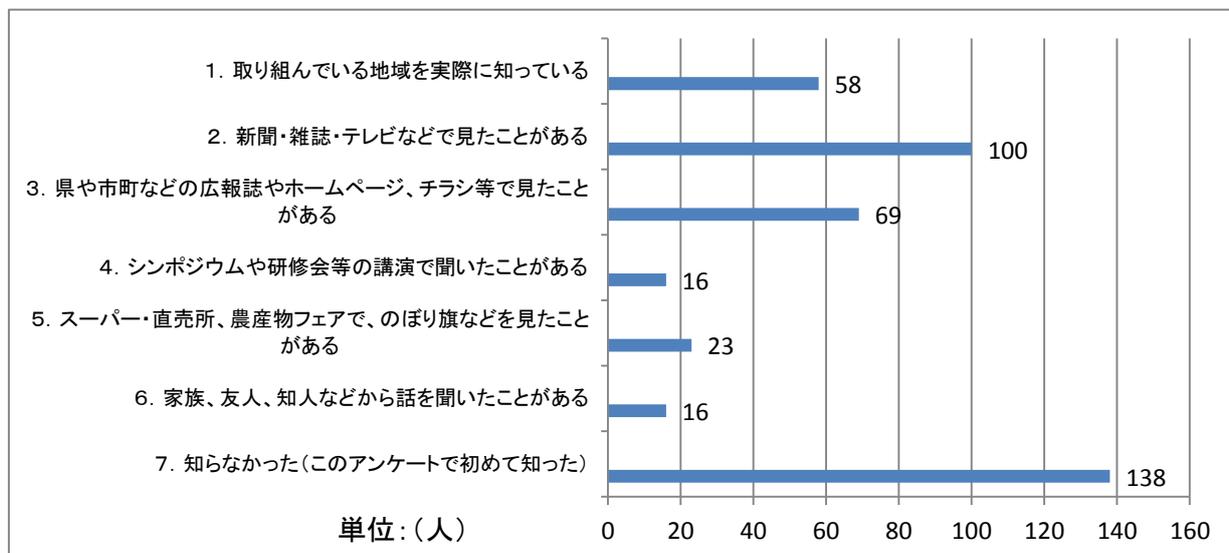
こうした「世界農業遺産」の認定に向けての取り組みについて知っていますか。(回答チェックはいくつでも n=316)

選択肢	人数(人)	割合
1. 新聞・雑誌・テレビなどで見たことがある	71	22.5%
2. 県や市町などの広報誌やホームページ、チラシ等を見たことがある	86	27.2%
3. シンポジウムや研修会等の講演で聞いたことがある	16	5.1%
4. スーパー・直売所・農産物フェアで、のぼり旗などを見たことがある	24	7.6%
5. 家族・友人・知人などから話を聞いたことがある	14	4.4%
6. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	184	58.2%



問3 「魚のゆりかご水田」は、琵琶湖の魚が自ら、産卵・成育の場として遡上する水田のことで、かつては琵琶湖周辺でごく普通に見られました。近年では、水路に魚道を設置することで、魚の水田への遡上を助け、生まれた稚魚を大切に見守りながらお米を栽培する取組が行われています。この「魚のゆりかご水田」について知っていますか。(回答チェックはいくつでも n=316)

選択肢	人数(人)	割合
1. 取り組んでいる地域を実際に知っている	58	18.4%
2. 新聞・雑誌・テレビなどで見たことがある	100	31.6%
3. 県や市町などの広報誌やホームページ、チラシ等で見たことがある	69	21.8%
4. シンポジウムや研修会等の講演で聞いたことがある	16	5.1%
5. スーパー・直売所・農産物フェアで、のぼり旗などを見たことがある	23	7.3%
6. 家族、友人、知人などから話を聞いたことがある	16	5.1%
7. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	138	43.7%

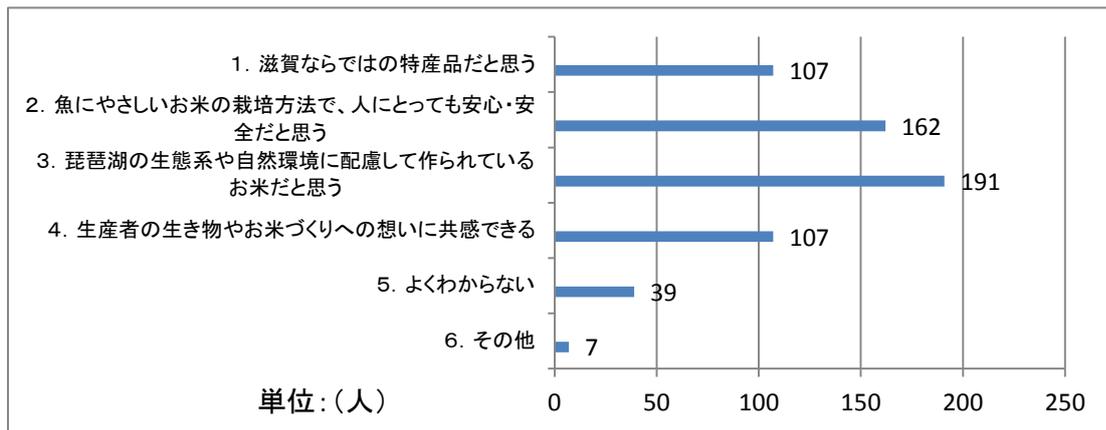


問4 「魚のゆりかご水田」で収穫されたお米「魚のゆりかご水田米」は、農薬・化学肥料を通常の半分以下に減らし、除草剤は生きものに配慮したものに限定して、手間ひまかけて栽培された環境や生きものにやさしいお米です。

この「魚のゆりかご水田米」のイメージと購入について、それぞれ最もあてはまるものを選択してください。

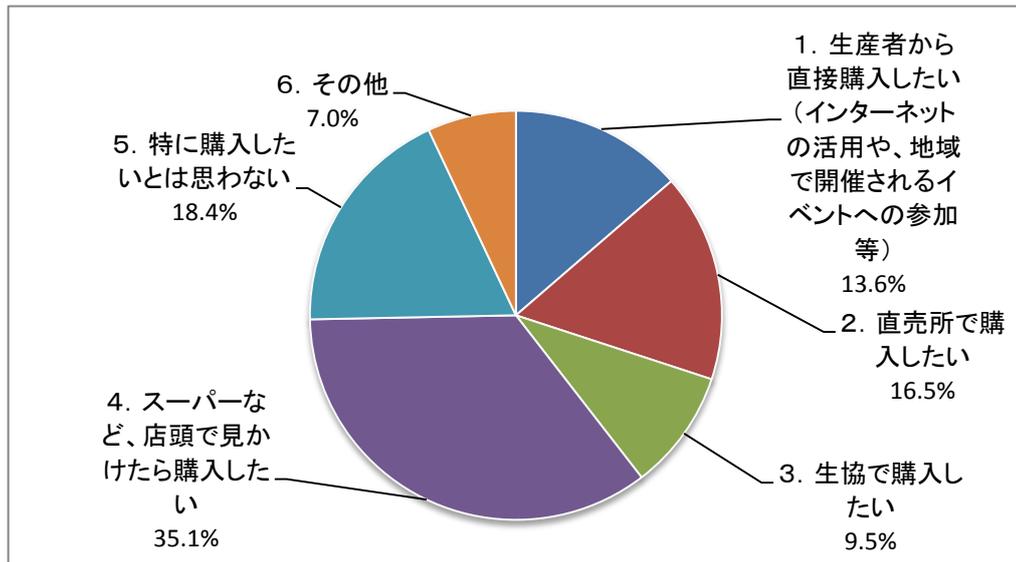
【イメージについて】(回答チェックは3つまで n=316)

選択肢	人数(人)	割合
1. 滋賀ならではの特産品だと思う	107	33.9%
2. 魚にやさしいお米の栽培方法で、人にとっても安心・安全だと思う	162	51.3%
3. 琵琶湖の生態系や自然環境に配慮して作られているお米だと思う	191	60.4%
4. 生産者の生き物やお米づくりへの想いに共感できる	107	33.9%
5. よくわからない	39	12.3%
6. その他	7	2.2%



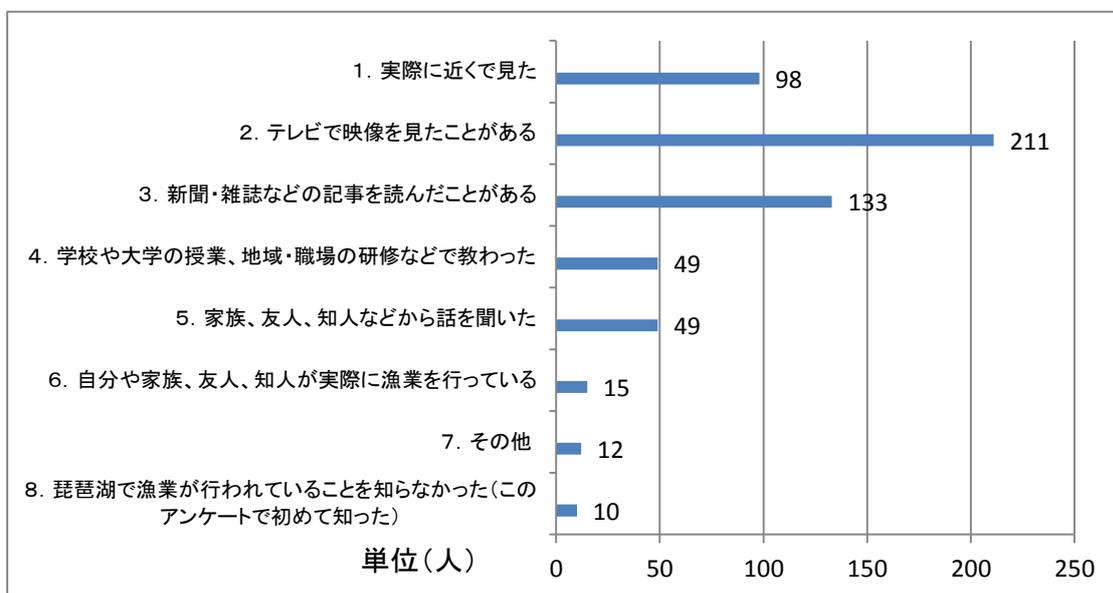
【購入について】(回答チェックは1つだけ n=316)

選択肢	人数(人)	割合
1. 生産者から直接購入したい(インターネットの活用や、地域で開催されるイベントへの参加等)	43	13.6%
2. 直売所で購入したい	52	16.5%
3. 生協で購入したい	30	9.5%
4. スーパーなどで見かけたら購入したい	111	35.1%
5. 特に購入したいとは思わない	58	18.4%
6. その他	22	7.0%
合計	316	100%



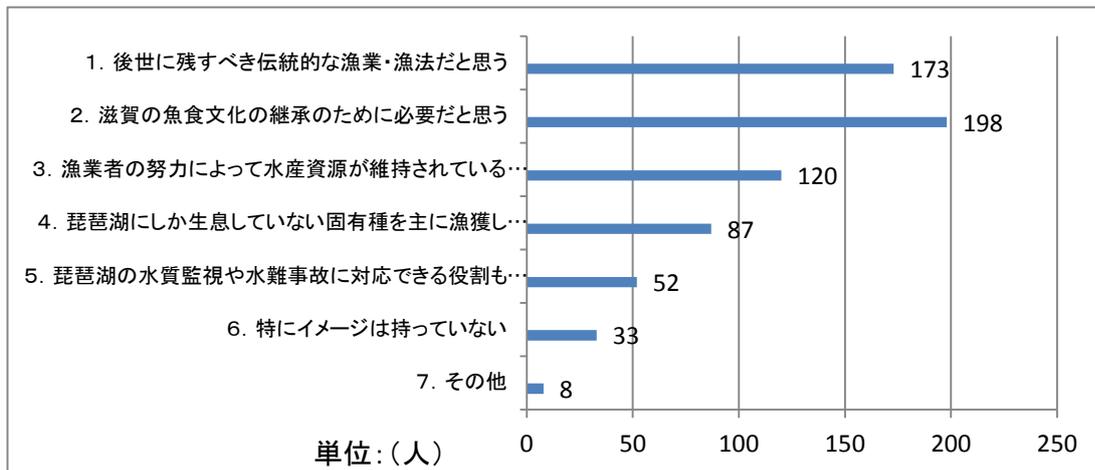
問5 琵琶湖で行われている漁業について、どのように見たり聞いたりしますか。(回答チェックはいくつでも)

選択肢	人数(人)	割合
1. 実際に近くで見た	98	31.0%
2. テレビで映像を見たことがある	211	66.8%
3. 新聞・雑誌などの記事を読んだことがある	133	42.1%
4. 学校や大学の授業、地域・職場の研修などで教わった	49	15.5%
5. 家族、友人、知人などから話を聞いた	49	15.5%
6. 自分や家族、友人、知人が実際に漁業を行っている	15	4.7%
7. その他	12	3.8%
8. 琵琶湖で漁業が行われていることを知らなかった(このアンケートで初めて知った)	10	3.2%



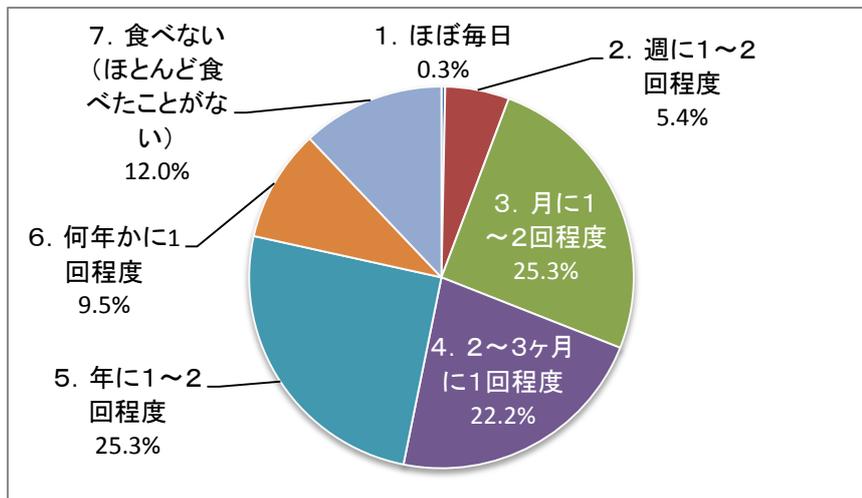
問6 琵琶湖の漁業は、豊かな生態系の中で縄文時代から受け継がれてきています。この琵琶湖で行われている漁業のイメージについて次の中から選択してください。(回答チェックは3つまで n=316)

選択肢	人数(人)	割合
1. 後世に残すべき伝統的な漁業・漁法だと思う	173	54.7%
2. 滋賀の魚食文化の継承のために必要だと思う	198	62.7%
3. 漁業者の努力によって水産資源が維持されている漁業である	120	38.0%
4. 琵琶湖にしか生息していない固有種を主に漁獲している	87	27.5%
5. 琵琶湖の水質監視や水難事故に対応できる役割も担っている	52	16.5%
6. 特にイメージは持っていない	33	10.4%
7. その他	8	2.5%



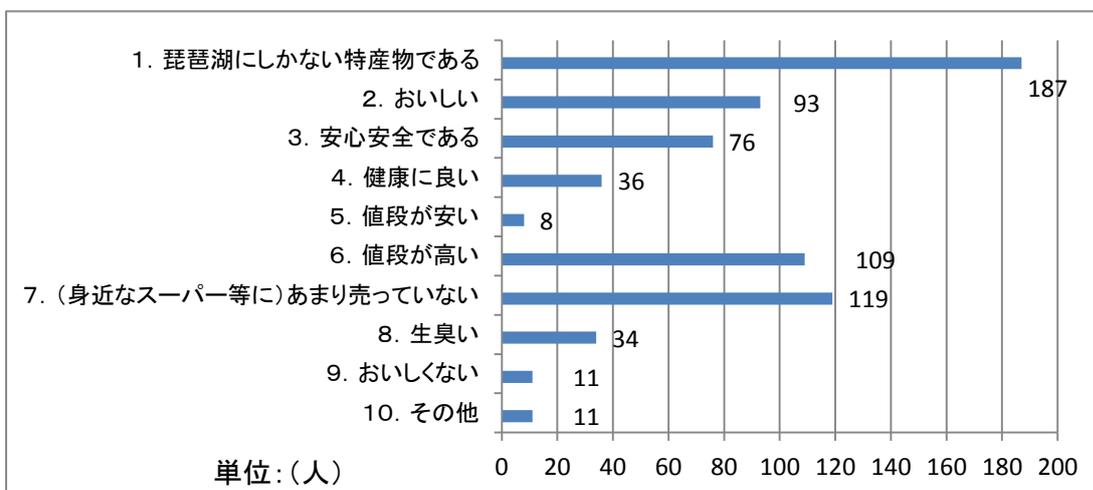
問7 琵琶湖の水産物(魚や貝)を食べる頻度について次の中から選択してください。(回答チェックは1つだけ n=316)

選択肢	人数(人)	割合
1. ほぼ毎日	1	0.3%
2. 週に1~2回程度	17	5.4%
3. 月に1~2回程度	80	25.3%
4. 2~3ヶ月に1回程度	70	22.2%
5. 年に1~2回程度	80	25.3%
6. 何年かに1回程度	30	9.5%
7. 食べない(ほとんど食べたことがない)	38	12.0%
合計	316	100.0%



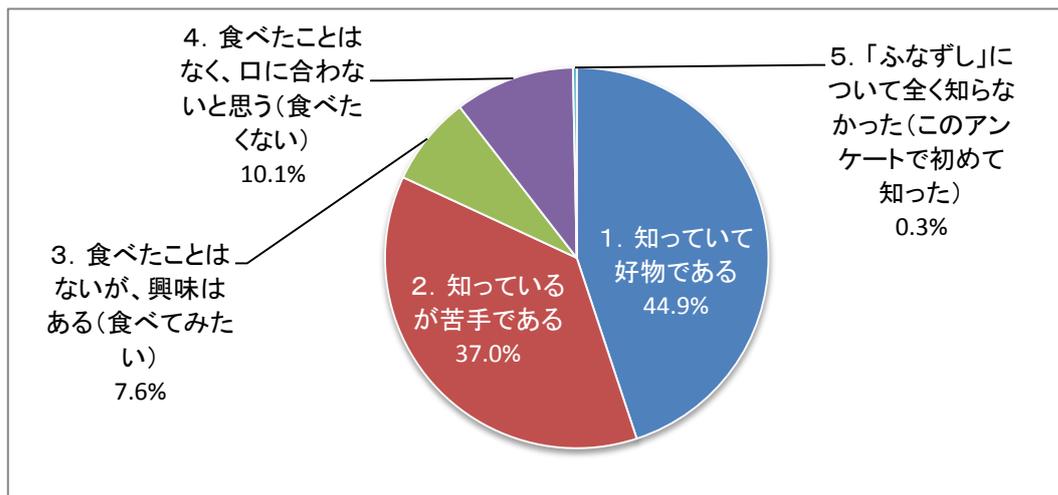
問8 琵琶湖の水産物(魚や貝)のイメージについて次の中から選択してください。
(回答チェックは3つまで n=316)

選択肢	人数(人)	割合
1. 琵琶湖にしかない特産物である	187	59.2%
2. おいしい	93	29.4%
3. 安心安全である	76	24.1%
4. 健康に良い	36	11.4%
5. 値段が安い	8	2.5%
6. 値段が高い	109	34.5%
7. (身近なスーパー等に)あまり売っていない	119	37.7%
8. 生臭い	34	10.8%
9. おいしくない	11	3.5%
10. その他	11	3.5%



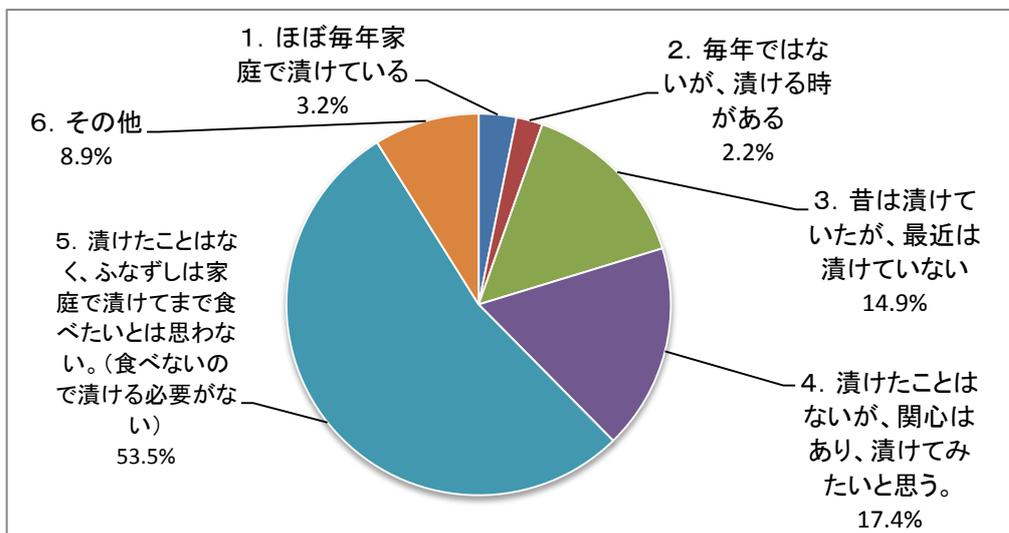
問9 「ふなずし」は、千年以上の歴史を持ち、保存食として、また贈答品や神社への供え物として用いられています。この滋賀県の伝統食「ふなずし」を知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=316)

選択肢	人数(人)	割合
1. 知っていて好物である	142	44.9%
2. 知っているが苦手である	117	37.0%
3. 食べたことはないが、興味はある(食べてみたい)	24	7.6%
4. 食べたことはないが、口に合わないと思う(食べたくない)	32	10.1%
5. 「ふなずし」について全く知らなかった(このアンケートで初めて知った)	1	0.3%
合計	316	100%



問10 かつて県内では、多くの家庭でこの「ふなずし」が漬けられていました。近年は、独特の香りを抑制する簡易な漬け込み手法が普及してきています。「ふなずし」を御家庭で漬け込む状況等について最もあてはまるものを次の中から選択してください。(回答チェックは1つだけ n=316)

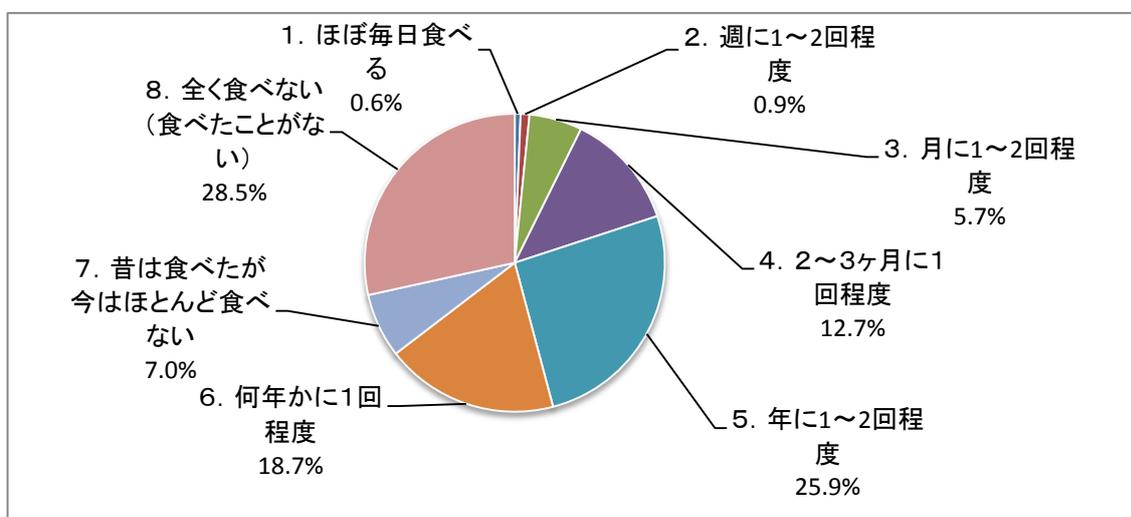
選択肢	人数(人)	割合
1. ほぼ毎年家庭で漬けている	10	3.2%
2. 毎年ではないが、漬ける時がある	7	2.2%
3. 昔は漬けていたが、最近は漬けていない	47	14.9%
4. 漬けたことはないが、関心はあり、漬けてみたいと思う。	55	17.4%
5. 漬けたことはないが、家庭で漬けてまで食べたいとは思わない。(食べたくないので、漬ける必要がない)	169	53.5%
6. その他	28	8.9%
合計	316	100%



問11 「ふなずし」などナレズシ(※)を食べる頻度についてお尋ねします。(回答チェックは1つだけ n=316)

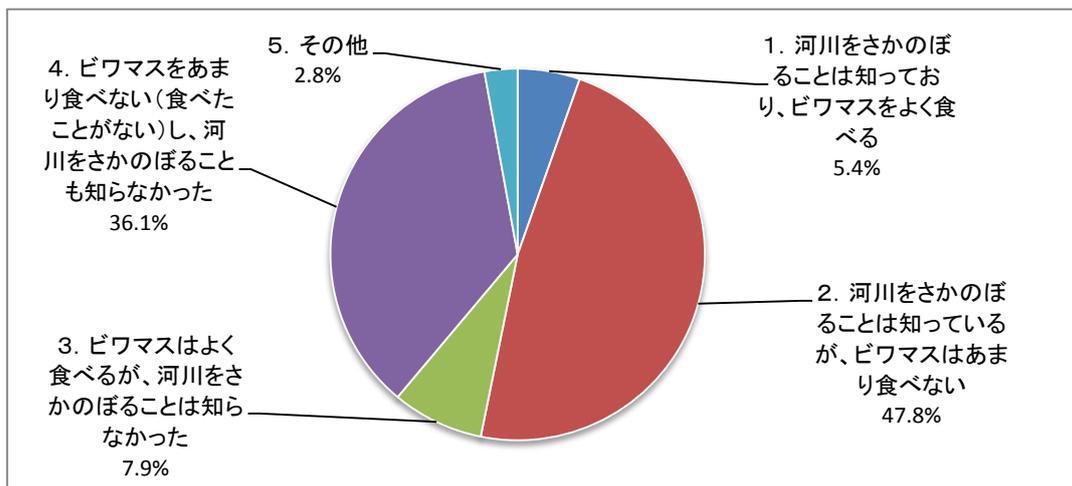
※ナレズシ・・・魚を塩と米飯で乳酸発酵させた寿司

選択肢	人数(人)	割合
1. ほぼ毎日食べる	2	0.6%
2. 週に1~2回程度	3	0.9%
3. 月に1~2回程度	18	5.7%
4. 2~3ヶ月に1回程度	40	12.7%
5. 年に1~2回程度	82	25.9%
6. 何年かに1回程度	59	18.7%
7. 昔は食べたが今はほとんど食べない	22	7.0%
8. 全く食べない(食べたことがない)	90	28.5%
合計	316	100%



問12 琵琶湖で漁獲されるビワマスは、産卵のために河川を数十キロもさかのぼります。近年、このビワマスの川をさかのぼる環境を整えるための活動が、県内各地の河川で行われています。このビワマスが川をさかのぼること等について、次の中から選択してください。(回答チェックは1つだけ n=316)

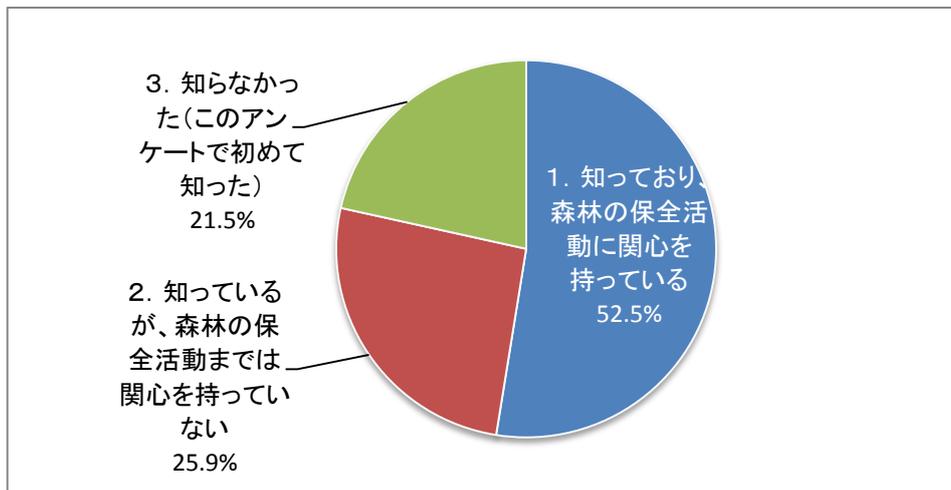
選択肢	人数(人)	割合
1. 河川をさかのぼることは知っており、ビワマスをよく食べる	17	5.4%
2. 河川をさかのぼることは知っているが、ビワマスはあまり食べない(食べたことがない)	151	47.8%
3. ビワマスはよく食べるが、河川をさかのぼることは知らなかった	25	7.9%
4. ビワマスをあまり食べない(食べたことがない)し、河川をさかのぼることも知らなかった	114	36.1%
5. その他	9	2.8%
合計	316	100%



問13 森林には、雨水を吸収して一時的に蓄え、徐々に河川に送り出すことによって洪水を緩和する水源涵養(すいげんかんよう)の機能があります。このことは、問12に記載しているようなビワマス等の生態系保全にもつながっており、こうした機能を発揮するうえで、森林保全の営みが重要な役割をはたしています。

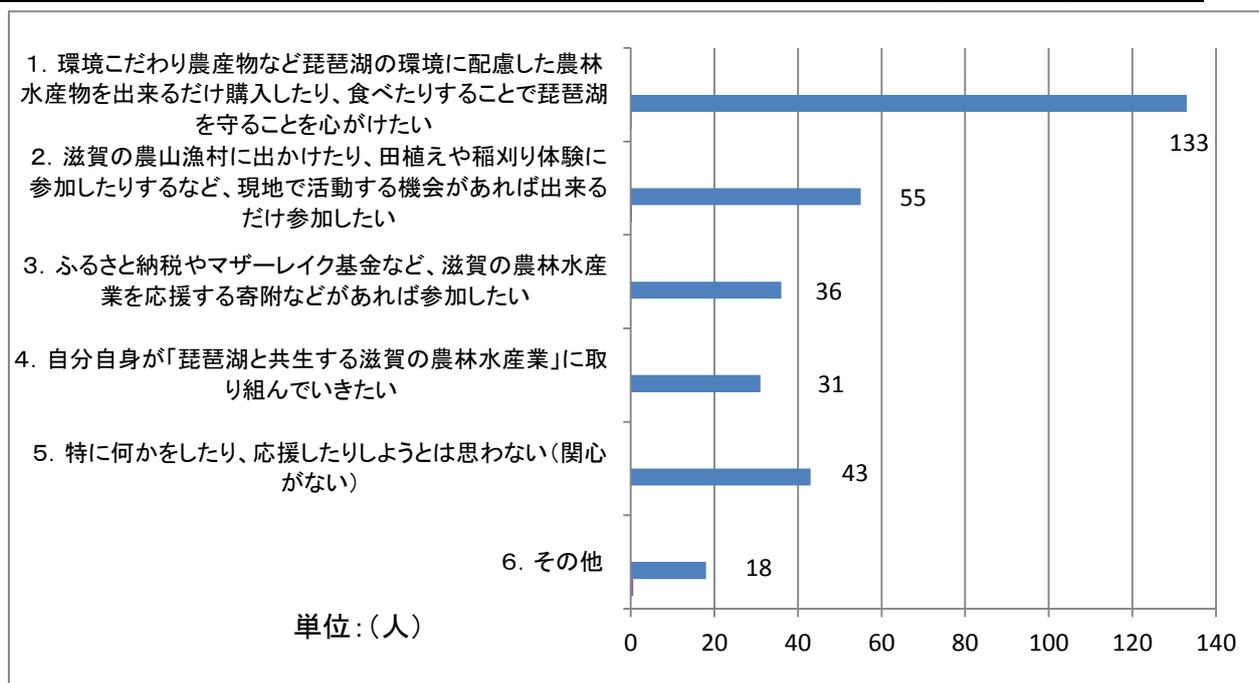
森林が持つこのような多面的な機能について知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=316)

選択肢	人数(人)	割合
1. 知っており、森林の保全活動に関心を持っている	166	52.5%
2. 知っているが、森林の保全活動までは関心を持っていない	82	25.9%
3. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	68	21.5%
合計	316	100%



問14 こうした世界農業遺産の認定を目指す「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業」に関して、御自身で何か出来ることをしてみたい、出来れば応援したいと思いませんか。(回答チェックはいくつでも n=316)

選択肢	人数(人)	割合
1. 環境こだわり農産物など琵琶湖の環境に配慮した農林水産物を出来るだけ購入したり、食べたりすることで琵琶湖を守ることを心がけたい	133	42.1%
2. 滋賀の農山漁村に出かけたり、田植えや稲刈り体験に参加したりするなど、現地で活動する機会があれば出来るだけ参加したい	55	17.4%
3. ふるさと納税やマザーレイク基金など、滋賀の農林水産業を応援する寄附などがあれば参加したい	36	11.4%
4. 自分自身が「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業」に取り組んでいきたい	31	9.8%
5. 特に何かをしたり、応援したりしようとは思わない(関心がない)	43	13.6%
6. その他	18	5.7%



問15 その他、世界農業遺産の認定を目指す「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業」について御意見がありましたらお聞かせください。(任意)(一部抜粋)

- ・世界農業遺産という言葉を知らなかったのですが、文化を後世に残していくことは大切なので良い事だと思いました。
- ・「日本農業遺産」認定おめでとうございます。古くから琵琶湖を守られて来た、農林水産に直接関わられた現地の皆さまの貢献と、これらの申請を長年にわたり努力された県の政策関係の皆様様の結晶と賜物です。世界農業遺産に向けた更なる御努力をお願いいたします。
- ・世界農業遺産の認定を目指す活動が続けることにより、多くの滋賀県民の琵琶湖の生態系の保全に関する知識が広まると良いと思います。
- ・世界農業遺産を目指すことによって、農産物の品質が良くなったり、農薬や化学肥料の使用をできる限り削減できるようになったり、琵琶湖の水質が良くなったりするのであれば良いことだと思いますが、世界農業遺産だけが一人歩きしているように思えてなりません。
- ・世界農業遺産の認定を県民が共通認識して、取り組む事により、全ての生態系や生活環境も良くなります。是非、活動を推進して戴き、協力したいです。
- ・ふなずしや湖魚・海老の佃煮などは、滋賀県産の日本酒とのマリアージュが最高であり、ホテルや旅館でこの組み合わせでアピールしていただきたい。滋賀の日本酒は非常に美味しい、滋賀特有の食材を合わせることで地域特性が発信できると思う。山の幸、米のおいしさ、水の豊かさを滋賀はもっと強く発信すべき。
- ・世界農業認定記念日の日を設けて記念イベントを開いたらどうか。試食と合わせ、日本酒などとのコラボも有効と思われる。
- ・「世界農業遺産」が何かもわからないし、なぜ滋賀県がそれを目指すのかも全くわからない。税金を使って認定を目指すのであれば、十分理解できるように、県民へ説明をするのが先だ。
- ・県民挙げて取り組みのための議論をすべきである。私も参加したい。
- ・世界農業遺産に認定されることが目的にならないように、まずは本来のあり方を確認したうえで、それが認定につながるようであれば積極的に取り組めば良い。
- ・滋賀県のイメージアップや、食の多様化、子育て環境の改善・維持に繋がり、社会としての持続可能性の向上に寄与すると考える。
- ・滋賀県にとっての琵琶湖は宝です。認定を目指す取り組みについては、これからも自然環境を守っていくことと併せて、力を入れて活動していった欲しいと思います。そうすることによって県民も住みやすい環境になっていくのではないのでしょうか。
- ・現在も残る伝統的な漁法は今や貴重な文化財である。社寺仏閣や城址等、多くの文化遺産と共に琵琶湖の象徴として是非とも承継し残したいものである。
- ・琵琶湖特有の食文化を生かすことは大変価値があると思います。
- ・日本一の琵琶湖があっても水産物がどこでも手に入る訳でなく、県民ですら一部の人がしか食べてない。私は琵琶湖の魚介で育ったので、いつも知人友人に美味しい調理法を話してるが材料が手に入らないので広める事も出来ず残念に思っている。世界遺産を目指すならせめて県民がいつも美味しく食卓に出る様に、県民が自信を持って世界にアピール出来る様にしなければ難しいと思う。

・「世界」の農業遺産を目指すなら、観光に組み入れたり、その特産物を気軽に買える販路が必要不可欠だと思う。認定が確定した暁には、オリジナルブランドとして、おいしがうれしがのような認定シールのようなモノを発行して、県内のスーパーやコンビニと積極的なコラボをぜひ展開して欲しいと思う。

・琵琶湖の水質を保全して農産物の豊作を維持しながら、魚介類の育成・増殖ができるような農薬・肥料を開発すべき。

・滋賀県が取り組む「世界農業遺産」には、大賛成だ。今後できる限り応援したい。

・とても大事な必要なことであることはよく理解しているつもりですが、物品を購入する以外の具体的な活動ができず、残念です。何か少しでも実際に行動を伴う活動があればと思います。

・滋賀県では農林水産業も盛んなので、是非、世界農業遺産認定に向けた活動を推進して欲しい。

・琵琶湖を有する滋賀県のすばらしさを全世界に発信してもらいたい。
平均寿命日本一、健康寿命も上位にある滋賀県は、琵琶湖の自然がもたらす恵によるところの食生活が大きく貢献しているものと思う。

・自然と共生していた古来の伝統農法を未来に向けてぜひとも残していただきたい。募金などがあれば金額はわずかですが、積極的に協力したい。